

夏の夜に降り注ぐ黄金色の雨

八千代ふるさと親子祭で「手筒花火」

手筒花火とは、竹筒の中に火薬を仕込んで荒縄を巻いたものを人が抱えて行う吹き上げ式の花火です。愛知県豊橋市の吉田神社が発祥の地と言われ、450年以上の歴史があります。8月24日、八千代ふるさと親子祭実行委員会主催の祭で青年会議所の会員が手筒花火に挑戦。点火から約30秒、ごう音と共に噴き出す火柱は、抱え手の顔の近くから高さ10メートルほど立ち昇り、火の粉が全身に降り注ぎます。火柱が収まると思いきや、「はね」と呼ばれる筒底が破裂する爆発音が鳴り響き、観客からどよめきが。篠笛と和太鼓の音楽ユニット「打花打火」の勇壮なリズムと共鳴するかのようになり、夜空に映える炎が豪快に祭を締めくくりました。

今号の紙面から

- ◆市の高齢者福祉サービス……2～3
- ◆国際平和作文コンクール……3
- ◆3Rでごみ減量化……4～5
- ◆ブックポストを増設します……5

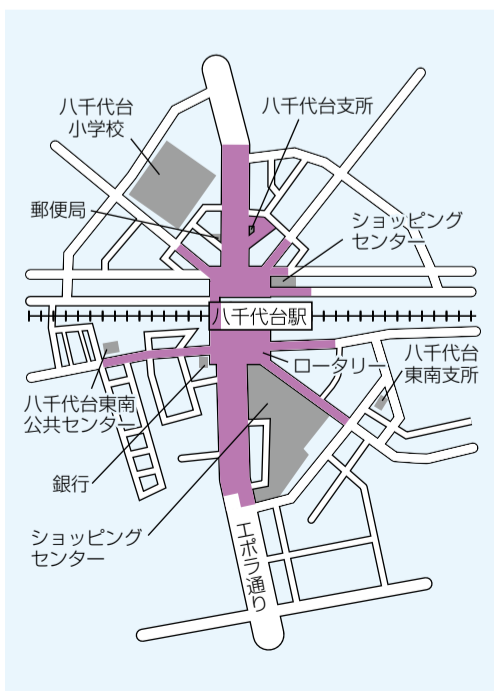


▲重さ約7キログラムの筒を持ったまま、火の熱さに耐え続ける抱え手の姿も手筒花火の見どころです

10月1日(火)から八千代台駅周辺と八千代中央駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定

市民の皆さんの身体や持ち物をたばこの火から守るため、八千代市路上喫煙の防止に関する条例を施行し、勝田台駅周辺と八千代緑が丘駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定しています。10月1日(火)から、次の地図のように、新たに八千代台駅周辺及び八千代中央駅周辺も路上喫煙禁止区域に指定されます。禁止区域で喫煙した場合は、2000円の過料が科せられます。

▼各駅周辺図(■は路上喫煙禁止区域)
▼八千代台駅周辺



▼八千代中央駅周辺



■近隣9市喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン
10月7日(月)～11日(金)の間、八千代市・千葉市・市川市・船橋市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市・浦安市・印西市の近隣9市による「喫煙マナー向上・ポイ捨て防止合同キャンペーン」を駅前などで実施。各市で制定している、路上喫煙による火傷・受動喫煙や、吸い殻・空き缶などのポイ捨てを防止する条例を周知し、より良い生活環境の実現を目指します。(生活安全課)